

# 〈平成29年度 地域包括支援センター事業評価整理表〉

※各地域包括支援センター評価表は、地域包括支援センターの自己評価を基に事務局でヒアリングをした結果を運営協議会評価（案）として記載しています。

※地域包括支援センター事業評価整理表は、各地域包括支援センターの運営協議会評価（案）を中項目ごとに整理しています。

○：できた △：一部できている ×：できていない  
 上段：H29年度評価 下段：H28年度評価

大項目	中項目	評価の主なポイント	評価							
			高穂	草津	老上	玉川	松原	新堂	その他特筆すべき活動	一部△の理由
1. 基本的事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>センターとして、職員体制や、施設環境、情報管理や報告書の提出期限などの基本的な事項について</li> </ul>	全て○ (一部△)	一部○ (一部△)	全て○ (全て○)	一部△ (一部△)	全て○ (全て○)	一部△ (一部△)	高穂：志津まちづくり通信に当センターの出張相談会の啓発記事を掲載してもらい、(全戸配布)志津まちづくりセンターにて、出張相談会を実施し当センターの啓発、個別相談を行った。  玉川：設置された看板がわかりにくい。地域で公共機関や施設がわかりやすくなるような看板の設置が検討されているため、その動きに応じて再度検討していく予定。  新堂：欠員が生じた。事業計画を延期して相談業務に支障がでないように対応した。	
2. 総合相談支援業務	1. 地域の高齢者の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の人口統計や民生委員統計調査等の収集</li> <li>民生委員児童委員協議会定例会や地域サロン等に参加しての高齢者実態把握</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (一部△)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	草津：民児協交流会や地域サロン対象のサポーター養成講座や出前講座等に積極的に出向いて、地域の高齢者の困りごとの把握に努めた。  玉川：関わったケースの情報を蓄積し、様々なエリアごとの分析ができるようにしている。 新堂：笠縫東、常盤学区の高齢者人口と単身高齢者世帯の把握はできている。	
	2. 地域におけるネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>学区の医療福祉を考える会議の開催</li> <li>地域の社会資源のリスト等の作成・整理</li> <li>地域の活動団体との交流</li> <li>民生委員等に高齢者虐待に関する基礎理解を得られるような情報提供</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (一部△)	全て○ (一部△)	全て○ (全て○)	一部△ (全て○)	全て○ (全て○)	高穂：志津学区の地域資源マップ作成に向けて、老人クラブや地域サロンに情報収集、整理を行った。学区の医療福祉を考える会議にて協議を重ねH30年4月の全戸配布に向けて調整を行った。  草津：個別の事例を通じて、地域ケア会議を開催し、地域住民やお店も見守りの協力を依頼し、ネットワークの構築に努めた。 老上：民児協とは交流会とグループ面談を行い、他の地域団体に対しても出前講座や医療福祉を考える会議にてネットワークを構築した。  玉川：南笠東学区の医療福祉を考える会議では、地域資源マップを完成させ、全戸配布をした。玉川学区の医療福祉を考える会議は今年度からスタートした。  松原・新堂：見守りシートを通じて民生委員とのネットワークづくりを行った。	
	3. 初期段階での相談業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者への基本的な対応</li> <li>介護者家族への配慮</li> <li>包括内でのミーティング</li> <li>記録の入力</li> <li>緊急性の判断</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	草津：新規相談ケースについては、インタークシートを作成して活用している。  玉川：早期相談につなげるために、南笠東学区の80歳以上高齢者を担当民生委員児童委員と同行訪問した。	
	4. 専門的・継続的相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談内容に応じた各機関との連携</li> <li>困難事例についてのケース会議の開催、役割分担、支援計画の作成や評価</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (一部△)	一部△ (全て○)	新堂：ケースにおいてモニタリングできていなかった。(評価会議は終了できている)	
	1. 高齢者虐待事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿いきがい課に相談したうえで、会議を開催、適切に対応できていること</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	一部△ (全て○)	全て○ (全て○)	松原：虐待や虐待の疑いがあるケースについては、長寿いきがい課に都度相談・連携し対応している。しかし、ケース会議が家族や関係者の調整が難しく開催できないことがあった。	

# 〈平成29年度 地域包括支援センター事業評価整理表〉

※各地域包括支援センター評価表は、地域包括支援センターの自己評価を基に事務局でヒアリングをした結果を運営協議会評価（案）として記載しています。

※地域包括支援センター事業評価整理表は、各地域包括支援センターの運営協議会評価（案）を中項目ごとに整理しています。

○：できた △：一部できている ×：できていない  
 上段：H29年度評価 下段：H28年度評価

大項目	中項目	評価の主なポイント	評価								その他特筆すべき活動	一部△の理由
			高穂	草津	老上	玉川	松原	新堂				
3. 権利擁護業務	2. 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じたケース会議の開催</li> <li>成年後見センターもだまとの連携</li> <li>成年後見制度等の事業説明と利用支援</li> <li>制度の啓発</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	6包括：ケアマネ向けに権利擁護の研修を実施した。（6包括合同）	
	3. 支援困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーの相談に応じた対応</li> <li>センター内で協議、対応策の検討</li> <li>関係者との対応の協議、情報把握</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	6包括：民生委員児童委員とは顔の見える関係ができてきていて、地域での様子の聞き取りや情報共有ができるようになってきている。  6包括：介入の拒否や安否確認ができない高齢者に関しては、民生委員児童委員や近隣住民、市民センター、警察、インフォーマルサービスやお店などから情報収集や連携をして支援を行なっている。	
	4. 消費者被害への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者被害の情報把握や協力者への情報提供</li> <li>消費生活センターとの連携</li> </ul>	全て○ (全て○)	一部△ (一部×)	一部△ (一部×)	一部△ (一部△)	一部△ (一部△)	一部△ (一部△)	一部△ (一部×)	一部△ (一部×)	高穂：独居、高齢者世帯への訪問時には、実態把握を通じて消費者被害にあわれないか確認している。気になるケースには、消費生活センターの悪質商法お断りシールを渡している。消費生活センターから得た情報や資料を民生委員児童委員との交流会にて配布を行った。  6包括：消費生活センターとの意見交換、情報共有の場を持ち消費者被害の実態を把握している。	草津・老上・松原：消費者被害のリーフレットを活用し啓発に努めているが、被害の情報提供を民生委員児童委員などの地域の協力者までは情報提供できていない。  玉川・新堂：対応しているケースに関して、担当民生委員児童委員への情報提供はしている。
4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	1. 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域団体や医療・関係機関と必要に応じての連携や情報提供</li> <li>ケアマネジャーと、他職種との連携支援</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	老上：病院との医療連携フェスタを草津保健所と開催（実行委員として）した。  玉川：ケアマネジャーが病状を予後予測し、利用者の状態にあったケアマネジメントが行えよう、医療機関と連携し、必要な情報を収集するための調整や支援をしている。	
	2. 地域のインフォーマルサービスの連携体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域のインフォーマルサービスの情報把握</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (一部△)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	高穂：志津学区の地域情報の収集、整理に取り組んでいる。地域の関係団体からお誘いを頂いた研修には可能な限り参加している。	
	3. ケアマネジャーに対する個別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーの相談に応じた助言、同行訪問</li> <li>ケアマネジャーへの必要な情報提供や研修等の実施</li> </ul>	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	高穂：H29年度は、圏域ケアマネジャー交流会を2回開催し、事例検討、地域情報の発信を行った。  老上：草津市認知症ケアマネジメント研修を老上学区の主任介護支援専門員と協働で実施。  玉川：圏域ケアマネジメント支援会議を年5回実施。毎回、前半90分、ケース検討を行い、後半90分は外部講師を招いて学習機会を提供している。  松原：圏域の主任介護支援専門員と共に地域ケア個別会議を企画・立案し開催できた。交流勉強会も定着してきている。  新堂：圏域ケアマネジャー交流会は、松原包括と同時開催し、「入退院時の連携」について学んだ。	

# 〈平成29年度 地域包括支援センター事業評価整理表〉

※各地域包括支援センター評価表は、地域包括支援センターの自己評価を基に事務局でヒアリングをした結果を運営協議会評価（案）として記載しています。

※地域包括支援センター事業評価整理表は、各地域包括支援センターの運営協議会評価（案）を中項目ごとに整理しています。

○：できた △：一部できている ×：できていない

上段：H29年度評価 下段：H28年度評価

大項目	中項目	評価の主なポイント	評価						その他特筆すべき活動	一部△の理由
			高穂	草津	老上	玉川	松原	新堂		
5. 介護予防支援業務・介護予防ケアマネジメント業務	1. 介護予防支援業務にかかるケアマネジメントの実践	課題分析・個人情報の取り扱い・本人と家族の意向の確認・医療機関との連携・モニタリングがトラブルなく行えていること	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	一部△ (一部△)		新堂：職員欠員時や緊急性の高いケースの支援により、モニタリングの時期が遅れる傾向が一時期あった。
	2. 介護予防ケアマネジメント業務にかかるケアマネジメントの実践	基本チェックリストの実施からプラン作成、地域へのつなぎといった一連の業務の実施	全て○	全て○	全て○	全て○	全て○	全て○		
6. 認知症対策	1. 普及・啓発の推進	・住民等への認知症の正しい知識の啓発	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	高穂：志津・矢倉学区は夏休みに認知症サポーター養成講座を児童育成クラブ4か所、矢倉学区ではPTAや子どもの保護者への認知症サポーター養成講座を開催した。 玉川：出前講座や町内の夏祭り、南笠東合同フェスタやふれあいサロンでは認知症の予防と対策をテーマに実施。民生委員児童委員と合同で認知症をテーマにした寸劇も行った。	
	2. 介護サービス・認知症ケアの充実	・認知症高齢者への適切なサービスが受けられるための支援 ・関係者のマネジメント力の向上を図る	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	老上：圏域のケアマネジャー勉強会、事例検討会、認知症ケアマネジメント研修（ケアマネジャー対象）を開催し認知症ケアマネジメント力向上に努めた。	
	3. 早期発見・早期対応の推進	・早期受診につなげる ・認知症の初期から状況に応じて本人・家族へ支援していける仕組みづくり	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	松原：速やかに医療機関に繋げたり、認知症初期集中支援チームとの連携を図りながら、重度化の抑制への取組みを行った。	
	4. 地域見守り体制の推進	・地域住民への認知症への理解と本人や家族を支援する行動がとれるよう促す取組	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	高穂：学区の医療福祉を考へ会議を通じて、地域の互助の力を高め、地域の見守りの意識が生まれるように取り組んだ。 草津：個別ケースの支援から地域ケア個別会議に民生委員児童委員だけでなく町内会長や地域の役員、お店の方などの参加を呼びかけ見守り体制の必要性を浸透させている。	
	5. 介護者のケアの充実	・介護者の負担の軽減のための支援	全て○ (全て○)	全て○ (一部△)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)	全て○ (全て○)		